

都道府県名:熊本県 団体名:株式会社テレビ熊本

地域

熊本は白川や球磨川などの大きな河川や、白川水源などの多数の湧水地がある『水の国』であります。特に阿蘇山と熊本市の中間地域である白川中流域は古代の阿蘇山の噴火による堆積物により通常の田畑の5～10倍も水が浸透し、地下水のプールとなっています。

この地下水はミネラルがバランスよく溶け込んだ、おいしくて体にやさしい水となり、この豊富な地下水のおかげで約74万人の人口を有する熊本市でも水道水源のすべてを地下水で賄うことができます。また熊本市の中心部から約5kmに位置する『江津湖』は、一日の湧水量が約40トン誇る『日本一の地下水都市・熊本』のシンボルであり、市民の憩いの場となっています。

経緯

- 2012年1月 『水の国くまもと応援プロジェクト進行中』をキャッチフレーズに水保全活動をスタート
- 2012年4月 報道番組『TKUみんなのニュース』内にて、『シリーズ水の国』をスタート
- 2012年～ 江津湖周辺のホタル再生をめざし、育成保護団体へ10年間、毎年100万円を寄付
- 2013年6月 『水田オーナー制度』に参加し、涵養田で田植え・稲刈りを毎年実施
- 2013年7月 江津湖クリーン作戦 江津湖の外来植物の除去を中心とした清掃活動を実施
- 2015年10月 『第1回 水の国高校生フォーラム』をスタートし、毎年開催中
- 2016年12月 熊本市と『江津湖および水前寺エリアの魅力発信に関するパートナーシップ』の協定締結

功績内容

2012年1月から「水の国くまもと応援プロジェクト進行中」をキャッチフレーズに、白川、球磨川、菊池川、緑川などの一級河川や、1,000箇所を超える湧水源を有する「水の国 熊本」の水環境を守り将来に引き継ぐため、テレビ番組やイベントを通して水の重要性を訴える幅広い啓発活動を行っている。

- ・県内の高校生が主役となり、熊本の水環境を学び、自分たちができる水環境保全活動を考える「水の国高校生フォーラム」を、熊本県、熊本市、(公財)くまもと地下水財団と共催。
- ・米作りを通じて水田と地下水を保全する取り組み「水田オーナー制度」に参加し、情報番組『英太郎のかたらんね』でスタッフと視聴者が地元農家の方々と交流しながら、田植えから稲刈りまでの模様を番組で紹介。
- ・熊本市民の水辺の憩いの場である江津湖公園において、毎年7月に「江津湖クリーン作戦」として広く県民に呼びかけ、ボランティア400名による外来水草の除去等の清掃活動を実施。
- ・熊本の水の恵みを活かす活動等を、テレビ番組「みんなのニュース」内の「シリーズ水の国」で継続放送。
- ・このほか、ホタルの育成・保護団体への寄附による支援、金峰山の植樹ボランティア参加等、熊本の水の重要性を広く県民に周知する様々な活動に取り組んでいる。



シリーズ水の国 放送の様子
「TKUみんなのニュース」



ホタル育成・保護団体への寄付



江津湖クリーン作戦



「英太郎のかたらんね」では
涵養田にて米作りを実施中



年1回開催の高校生フォーラム



熊本市と江津湖にまつわる
パートナーシップ協定の締結